



# かけはし

## ～後期学校評価のお知らせ～

保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動にご支援とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、12月に、皆様のご協力によります保護者アンケート、児童1人1人が回答しました児童アンケート、本校教員のアンケート(自己評価)を通して、第2回の学校評価を行いました。

1月30日の第2回学校評議員会にて、評議員の皆様それぞれを審議していただきましたので、その主な内容を保護者の皆様と地域の皆様にお知らせ致します。

尚、アンケート回答のAは「そう思う」、Bは「どちらかというと思う」、Cは「どちらかというと思わない」、Dは「そう思わない」、Eは「分からない」を表します。「対象」の「保」は保護者、「児」は児童を表します。

### 1. 学習に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	児	勉強の内容がわかります。	61	34	5	0	
	児	じゅぎょう中、集中して取り組んでいます。	54	40	6	0	
	児	じゅぎょう中、進んで話し合い活動に参加しています。	60	34	6	0	
	保	子供は、授業がわかりやすいと言っている。	37	47	5	2	9
(2)	児	たくさん本を読んでいます。	59	27	11	3	
	保	子供は、よく本を読んでいる。	31	29	27	12	1
(3)	児	毎日、家で勉強(宿題をふくむ)をします。(10分間×学年)以上	72	21	6	1	
	保	子供は、毎日家庭学習(宿題を含む)を10分×学年以上している。	44	33	19	3	1

(1) 授業中の様子や学習内容に関しては、前期と同じように90%以上の子(AとBの合計)が、前向きに学習に取り組んでいることが分かります。また、Dと答えた子が前期の1~2%から0%になったことから、全体として意欲が向上していると言えます。引き続き、教員の工夫した授業づくりやそれぞれの子に応じた粘り強い指導を続けていきます。また、子供達が話し合い活動の良さをより実感できるように、その充実に向けて取り組んでいきます。

(2) 読書に関しては、90%近くの子が学校で本をよく読んでいます。前期に比べると少し低くなっています。そこで、ライブラリーの本を一度に2冊借りられるようにしたり、週に1時間は授業でライブラリーを利用したりすることにより、本に触れる機会を増やしていきます。

(3) 家庭学習に関しては、前期と同じように80~90%の子がきちんと取り組み、学年の目標時間を達成しているようです。宿題の取り組み方について子供の相談を受けたり、ご家庭でのお声掛けなど保護者の皆様のご協力を得たりしながら、一層の習慣化をめざしたいと思います。

### 2. 学校生活に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	児	学校へ行くのが楽しいです。	58	34	6	2	
	児	学校にはなかのよい友達がいます。	88	11	1	0	
	保	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。	49	41	7	1	2
(2)	児	自分から元気なあいさつをしています。	40	45	12	3	
	保	子供は自分からあいさつをしている。	37	43	16	1	3
(3)	保	子供は、生活のきまりや社会のルールを守っている。	39	56	3	1	1
	保	子供は、思いやりの心や優しい心をもっている。	48	49	2	0	1

(1) 学校生活や友達関係に関しては、前期と同じように多くの子が良い交友関係を持ちながら学校生活を楽んでいるようです。一方、僅かに減りましたが、CやDと答える子達もいます。今後も適切な声掛けや面談を通して思いを聞き取り、一人一人に応じた対応を続けていきたいと思ひます。

(2) 挨拶についても、前期同様に80%前後(AとBの合計)の子が進んでおり、身に付きつつあるようです。挨拶の意義を日々伝えたり挨拶運動をより工夫したりしながら、どの子も生活習慣の一つと

して身に付け、当たり前で挨拶をできるようにしたいと思います。

- (3) 子供達の心の成長に関わることについては、AとBの合計が今回も96～98%と高く、子供達は集団生活をより良いものになりたいという思いを持って行動していることが分かります。その思いを、更に学校生活のあらゆる場面で発揮できるように支援したいと思います。

### 3. 家庭生活に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	児	夜は早くねています。	38	39	18	5	
	保	子供は、早寝をしている。	40	29	24	7	0
	保	子供は、早起きをしている。	44	37	16	3	0
(2)	保	子供は、朝ごはんを食べている。	88	10	1	0	1
	児	好きさらいをせずに食べようとがんばっています。	72	24	3	1	
(3)	児	家ではお手つだいをしています。	50	35	11	4	
	保	子供は、手伝いをしている。	30	40	24	5	1

- (1) 早寝に関しては、前期と同じように目標とする時刻までに就寝しにくい子がいることが分かります。その理由も、同じく「ゲーム」と「習い事」が多くなっています。ゲームで遅くなる子には心と体への影響を繰り返し伝え、また習い事で遅くなる場合はその日を「特別の日」とし、他の日は早く寝るように指導していきます。早起きについては、毎年冬には遅くなりがちですが、子供自身に起きる時刻を決めさせるなど自覚を持たせるようにしたいと思います。
- (2) 朝食については、今回も保護者の皆様のお陰できちんと摂っている子が大変多くなっています。子供達全員がAとなり、朝から元気に活動できるようにしたいと思います。また、好き嫌いをしない子の割合も増えており、苦手な物であっても一口は食べようと努力していることが分かります。
- (3) 手伝いに関しても、前回と同じような結果となり、手伝いをよくする子となかなかできない子がいるようです。ハッピーチェックカードを基に手伝いの良さを伝えたり、週末に手伝いを宿題として出したりすることで、手伝いを続けるきっかけにしたいと思います。ご家庭でも引き続き、子供達の頑張りを認め、「助かった」「ありがとう」などの言葉掛けをお願いします。

### 4. 異学年交流や特別活動に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	児	委員会活動やかかり活動には、進んで取り組んでいます。	64	30	4	2	
(2)	児	なかよし班の活動(ミニ遠足、なかよし遊び)は楽しいです。	76	19	4	1	
(3)	保	子供は、成長に伴って、体力が向上している。	53	40	4	1	2

- (1) 委員会活動や係活動については、AとBの合計は前期と変わりませんが、Aだけを見ると下がっています。これは、「One for All」の取組により、子供達が自分の毎日の活動をしっかりと振り返ったためであると思います。自分が十分活動してなかったことに気付く子が多かったようです。再度「One for All」を行うなどして、毎日の活動をしっかりとやり切る力を高めていきたいと思います。
- (2) なかよし班活動についても、前期に比べるとAが下がっていますが、児童集会「井上フェスティバル」での楽しさと共に、グループ内の協力の大切さや他グループを楽しませる難しさを経験したことが影響しているようです。この経験を次回に生かせるよう支援していきたいと思います。
- (3) 子供達の体力向上への取組やその結果について、保護者の皆様にきちんとお知らせしなかったため、ご判断しにくかったことと思います。来年度に向けて改善していきます。

### 5. 先生や学校に関する項目

(%)

	対象	アンケート項目	A	B	C	D	E
(1)	保	学校の教育方針や取り組み等が分かる。	29	59	4	1	7
(2)	保	先生は、必要なときに家庭と連携しながら子供の指導を行っている。	42	45	3	2	8
(3)	保	先生は、子供の話をよく聞いている。	42	43	4	1	10
(4)	保	先生は、子供のよさや努力を認め、励ましている。	46	38	3	2	11

上記4項目については、いずれもAとBの合計が85%～88%であり、前期と同じように比較的高い評価をいただきました。ただ、Aだけを見ますと(1)と(3)は下がっており、子供への対応や保護者の皆様への伝え方などが十分ではないことが分かります。更に見直しを進めていきたいです。また、今回もE回答「分からない」の割合が高く、保護者の皆様に学校での様子が伝わりにくい状況が続いているようです。担任と共に学校としても、お伝えする方法を再検討していきたいです。

### 6. 保護者アンケートに寄せられた主なご意見と学校の対応

今回も、たくさんの方々からご意見をいただき大変感謝しております。ここでは、紙面の都合上、関係のあるご意見を合わせたり短くまとめたりしましたので、保護者の皆様の丁寧なお言葉とは違う表現にな

っているかと思ひます。ご了承ください。

### (1) 子供達の学習や生活、関わり

- ・ 本を読みたがりませんが、絵本の読み聞かせを好みます。  
⇒ 学校では本に親しめるようにいろいろな活動をしています。紹介の仕方を工夫するなどして今後も続けていきます。ご家庭でも絵本の読み聞かせを是非続け、本に親しんでいけるようにしてあげてください。時には、お母さん(お父さん)がお子さんの好きな絵本を読み聞かせてあげるのもよいかと思ひます。
- ・ 家では宿題を5分ほどで済ませ、その他はしません。家での勉強量が少ないようです。  
⇒ 「10分×学年」くらいの家庭学習をできる宿題を出すようにしていますが、お子さんには少ないのかもしれない。宿題後は、自学や読書など自分でできる学習を行うように、特に自学(自主学習)は自分にふさわしい時間や量にするように繰り返し指導してきます。ご家庭でも根気よく声を掛け見てあげてください。
- ・ 手伝いをなかなかしてくれませんが、たまにしてくれますが、定着しません。  
⇒ 「手伝い」というより、家族の一員としてお子さんに1つの仕事を任せてみるとよいかと思ひます。その仕事をするのは家族の中で自分だけであるという責任感から取り組む意欲につながると思ひます。学校では宿題として出すなどし、どの子にも家の仕事を経験させたいと考えています。
- ・ 子供は近所の方や顔見知りの方とすれ違っても自分から挨拶をしません。挨拶は大事ですので向上して欲しいと思ひます。家庭での教育不足だと思ひています。  
⇒ 学校でも、挨拶の意義や時と場に応じた挨拶の仕方などを考えさせたり繰り返し指導したりしています。4月の進級や進学に向けて子供達がワンランクアップするよう、家庭や地域での挨拶も更に勤めていきます。ご家庭でも根気よく声を掛けたり褒めたりしてあげてください。
- ・ 特定の数人にちょっかいを出されたり何か言われたりして嫌みたいです。  
⇒ 担任が毎月面談をし、お子さんから様子を聞いています。相手にも人の嫌がる言動を取らないよう繰り返し指導をしています。お子さんが少しでも安心して登校できるよう、今後も繰り返し話を聞いたり指導したりしてきます。

### (2) 教員の対応

- ・ 子供がさみしく苦しい思いをしたことを伝えた時も、制服を汚して体操着で帰ってきた時(子供の話だけではその理由がよく分からなかった)も、先生からの連絡がありませんでした。学校に行きたがらない時もあり、とても心配です。  
⇒ せっかくのご連絡に丁寧に対応せず、大変ご心配を掛けました。申し訳ございません。保護者の皆様からのご連絡には必ず返信し、素早く対応するよう全教員で再確認致します。また、こまめに連絡を取りながら、子供達の成長のために情報を共有していきたいと思ひています。今後も気になることがありましたら、是非学校にご連絡ください。
- ・ 話の仕方が投げやりであったり、子供の悪いところや間違ったところを強調して叱ったりする先生がいるそうです。子供が不信感を抱いているようです。  
⇒ 教員の言葉遣いや話し方により、子供達や保護者の皆様を不快にさせましたこと、大変申し訳なく思ひます。子供の成長を心から願う気持ちを持っていましたら、叱る時であってもそれが伝わる言葉や話し方をする必要があります。一人一人の教員に、子供への思いにふさわしい表現をしているのかを確認し、改善していきたいと思ひます。

### (3) その他

- ・ 「木のおうち」に買物・遊びに行くことについてどう判断してよいでしょうか。  
⇒ 学校では安全な校外生活という点から、年度当初にお示した「用事がないのに、店に出入りしません」というきまりを子供達に指導し、今後も確認してきます。
- ・ 集団下校制になるととても安心できます。  
⇒ 集団下校につきましては、今のところ緊急対応時以外は行いませんので、子供達には複数で帰るよう指導しています。今後も繰り返し指導してきます。
- ・ 不審者情報の配信が遅く、情報内容も薄いです。また、「いかのおすし」を指導されていなかったり、「いかのおすし」の対応では意味のない場合もあつたりします。見回りを増やせばいいのに毎回思ひます。  
⇒ 学校では、不審者情報が届きましたら、内容や対処法についてすぐ担任に知らせ、学級指導をしています。最も大事なのが子供達が安全に下校することですので、情報の詳細や具体的な対処法を学年に応じた形で子供達に直接知らせています。同時に、安全に下校ができていないかなどを確かめるため、職員が見回っています。今後も素早く対応していきたいと思ひます。メール配信につきましては、内容を十分に検討した上で、できる限り早く送るようにします。また、学級により指導内容が異なることのないように確認します。

- ・ 2学期に入ってから極端に天候の悪い日や台風などの日があったにですが、学校からメール等でまったく連絡がなかったのも、とても困りました。同じ津幡町内の他の小学校や去年まではきちんとメール連絡で対応してくださっていただけにとても残念に思いました。
  - ⇒ 悪天候時の登校につきまして大変ご心配を掛けました。保護者の皆様のお陰で、当日はどの子ども元気に登校することができました。今後も、今回の大雪のように緊急措置を要する場合は、午前7時までにメールを配信します。ただ、ご自宅の場所などによっては状況が多少異なるかと思しますので、お子さんの安全を第一に考え、保護者の皆様のご判断で遅く登校させるなどの対応をしていただいで構いません。
- ・ 学校便り「かけはし」のサイズが小さくなり、様子があまり伝わってこない感じがするのが残念です。
  - ⇒ 学校からご家庭に配付するプリント類が多いため、学校便りの内容を必要なことに絞りました。子供達の様子は、学年便りや本校ホームページにてご確認くださいませようお願いします。
- ・ 前の担任の先生は学級便りでよくクラスの様子を伝えてくださいましたが、今はそのような機会もあまりなく、学校での様子が分かりにくいです。
  - ⇒ 既にしていらっしゃることと思いますが、是非お子さんから直接学級の様子を聞いていただけたらと思います。不明な点などにつきましては、遠慮なく学校にご連絡ください。
- ・ 算数の少人数教室はどうなったのでしょうか。あまり実施されていないようですが…(アンケート時点の状況です。現在は少人数授業を行っています。)
  - ⇒ 学校全体の教員配置の一時的な変更により、11月の後半から6年生では少人数授業を行っていませんでした。一斉授業においても、各担任が子供達の理解がより進むよう指導しました。

## 7. 教員アンケート結果の主な内容

学校の教育活動を「学力の向上と指導力の向上」「豊かな心と社会性の育成」「健康の増進と体力の向上」「家庭、地域等との連携の強化」「幼保小・小中連携の強化」の5つに分け、それぞれの取組について教員が自己評価しました。その結果、19項目全てにおいてAとBの合計が90%を超え、内15項目では100%となっており、良好な結果となりました。特に、「授業のタイムマネジメント」「授業における書く場面の設定」「保育園などとの相互交流」「他の小学校や中学校との連携事業」など11項目については、前回に比べてA評価が10%以上増加しました。一方、「人間関係づくりを目的とした学級活動の実施」「家庭学習の習慣化に向けた取組」「進んで挨拶をする態度の形成」「指導力改善に向けての研修への積極的取組」の4項目は、A評価が10%以上減少しました。先月、これらの原因を探り改善策を検討し、現在取り組んでおります。その取組について日々振り返り、来年度に向けて改善していきたいと思っております。

## 8. 学校評議員会での主なご意見と返答など

- <いじめ>いじめに関するアンケートの「いじめ」の具体的なケースにはどのようなものがあるのでしょうか。アンケートから分かるいじめやアンケートでは分からないいじめがあるのでしょうか。
- ⇒ 具体的ないじめとしては、悪口やからかいが多く、「嫌だ」と言われても止めずに繰り返すという傾向が見られます。子供自身がアンケートに記載して分かる場合もありますが、学年が上がるにつれてアンケートに書かなかったり周囲に言わなかったりして、分かりにくい場合があります。そのため、日頃から教員が子供達の様子をよく観察し、アンケートに「何もない」と書かれていても「おかしい」と思う場合には、面談をするなどすぐ対応しています。
- <挨拶>教員アンケートの「児童は校外ですすんであいさつをしている」のA評価が大変悪くなっているのはどういうことでしょうか。子供達の挨拶は、家庭内の挨拶が土台となっています。家庭によっては、不審者対策として知らない人に挨拶をしないようにという方針もあります。
- ⇒ 教員アンケートのA評価の判断基準が「児童の90%以上(が進んで挨拶をする)」となっています。今回、そう判断できない教員が多くいたため、A評価が減少しました。B評価(児童の80%以上)と合わせると前期より増加していますので、全体としては向上していますが、常に進んでしている子供の姿がそう多くなかったようです。学校では、子供達に学校の内外を問わず、来客や地域の人に出会った時に挨拶できるようにして欲しいと思っています。

## 9. 後期学校評価全体を通して

今年度、学校評価の各項目が目標に到達しているかどうかを判断する基準を見直しました。昨年度までの肯定的評価(AとBの合計)だけではなく、A評価での判断も取り入れました。A+Bではほとんど変化が見られなくとも、その中でAが減りBが増えている場合もあれば、逆の場合もあり、今まで以上に子供達の姿を詳細に見ることができたように思います。これも、今回の後期学校評価を通して、保護者の皆様が大変貴重な情報をくださったお陰です。ありがとうございます。

教員一同、ここにお示ししました各対応を通し、めざす学校に近づくよう努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の取組に対して今後ともご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。